

# PDCAチェックシート

実施年度	平成30年度		
事務事業名	ごみ減量化事業	担当課名	環境衛生課
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
<p><b>■目的</b> ごみの減量化、再資源化の促進</p> <p><b>■成果指標(アウトカム・KPI) ※</b> 【目標値】 ○生ごみ堆肥化容器等購入費補助金 補助予定件数 117件 ○資源リサイクル活動奨励金 活動予定団体 30団体</p> <p>【達成値(H30実績値)】 ○生ごみ堆肥化容器等購入費補助金 補助実績件数 21件 ○資源リサイクル活動奨励金 活動実施団体 29団体</p>	<p><b>■具体的取組</b> ①生ごみ堆肥化容器等購入費補助金 家庭から排出されるごみを自ら処理することを促すため、生ごみ堆肥化容器等の購入費補助金を交付する。 【補助金額】 ・電動生ごみ処理機 20,000円/台 ・コンポスト 3,000円/基 ・EM容器 750円/個 ・EMぼかし 150円/袋</p> <p>②資源リサイクル活動奨励金 資源リサイクル活動(集団資源回収)は、ごみの減量化・再資源化の点で有効であるばかりでなく、地域のコミュニティ育成や環境学習の場としても役立つことから、資源リサイクル活動奨励金を交付し、活動団体を支援する。 【交付対象品目】 ・紙類、缶類、ビン類、布類 5円/kg</p> <p><b>■インプット(投入金額等)</b> ①生ごみ堆肥化容器等購入費補助金 127千円 ②資源リサイクル活動奨励金 1,312千円</p> <p><b>■アウトプット(数量等)</b> ○広報紙によるごみ減量化助成制度の紹介 掲載回数 1回(11月号) ○ホームページによる制度の紹介 常時掲載</p>	<p><b>■成果指標の具体的検証結果</b> (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) ①生ごみ堆肥化容器等購入費補助金 広報紙やホームページ掲載による事業の周知を行っているものの、申請件数は前年度から1件減となり、やや減少傾向である。 平成26年度 39件 平成27年度 35件 平成28年度 29件 平成29年度 22件 平成30年度 21件 計 145件</p> <p>また、国内の食品ロスのうち、半分は家庭から排出されていることを鑑み、購入した食材を食べきることを啓発することにより、生ごみ発生量を減らしごみの減量化に努める。</p> <p>②資源リサイクル活動奨励金 活動団体数は前年度と同じ、全体の活動回数は71回(H29-72回)と同等であったが、増加傾向であり、活動が定着してきていると判断できる。奨励金額(=回収量)も増加傾向であり、ごみの再資源化の促進は前進していると判断できる。 本活動を通じて、地域コミュニティの育成や環境学習の場として役立つことも期待できるため、引き続き周知啓発を行うことが望ましい。</p>	<p><b>■検証結果を受けての具体的対応</b> これまで、広報紙、ホームページ、出前講座等により制度の周知啓発活動を行い、更には、資源リサイクル活動の対象品目の追加等の見直しを行った結果、制度が定着してきている。 さらなる普及啓発のため、今後も生ごみ堆肥化容器等購入費補助金及び資源リサイクル活動奨励金ともに継続実施とし、ごみの減量化、再資源化の促進を図る。</p>

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。